

科目名	作曲研究 I～IV [院]	形態	実技	開講期	春・秋
担当教員	実技担当教員	単位	2	年次	1, 2

＝授業科目の目標＝

ヨーロッパ、アメリカの現代音楽の多様性を様々な観点から考察。G. Crumb, S. Reich, M. Lindberg, T. Murail, K. Saariaho, A. Hillborg を中心に概観し、その後、それぞれ次の作品を中心に掘り下げていく。

＝履修の条件と学習の方法＝

第2次大戦後に生まれた音楽と、それを生む土壌、背景等について理解を深めておくこと。

＝授業内容＝

(1年次)

1期 Edgard Varese, Olivier Messiaen, Andre Jolivet の作品分析

2期 ミニマル音楽、ライブエレクトロニクス音楽

(2年次)

3期 修士作品の準備

4期 修士作品の準備

＝成績評価の方法と評価の基準＝

提出作品（編成自由だが、大規模なアンサンブル、もしくはオーケストラ作品が望ましい）

＝その他＝

特になし